

A8000シリーズ取扱説明書

プロセス信号測定: A 8 □ □ B - 0 □



△ 注意

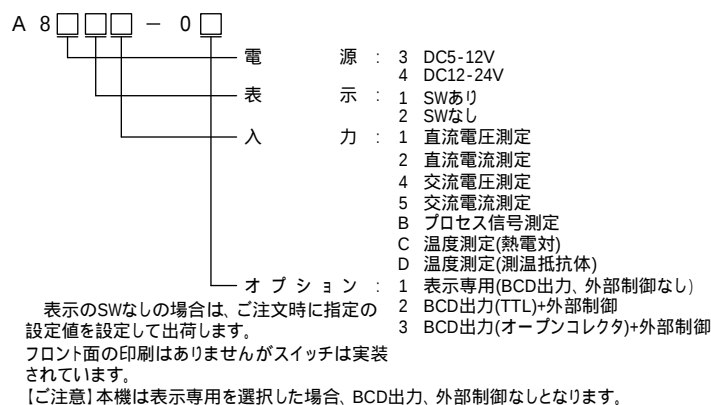
- (1) 入力に最大許容値を超える電圧や電流を加えると、機器の破損につながります。
- (2) 電源電圧は使用可能範囲で使用して下さい。使用可能範囲外で使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- (3) 本書の内容に関しては製品改良の為予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気付きの点がありました場合は、取扱店又は直接弊社へご連絡下さい。
- (5) 本書をお読みになった後は、いつでも見られる場所に保存して下さい。

1. お使いいただく前に

この度はA8000シリーズをお買い上げいただきまして有り難うございます。この取扱説明書はお使いになられる方のお手元にて保管していただくようお願い致します。また、輸送途中での破損等をご確認の上、お気付きの点がありました場合は、取扱店又は直接弊社へご連絡ください。

1.1. 型式構成

A8000シリーズの型式構成は下図のようになっております。ご注文時に選択された製品とお手元の製品に違いがないことをご確認願います。



1.2. 付属品の確認

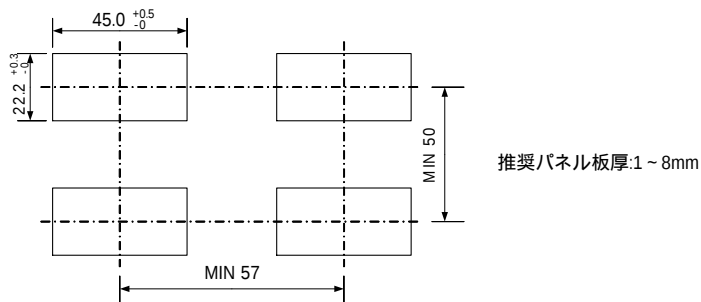
A8000の付属品は取扱説明書1部、単位シール1枚となっております。

オプションでBCD出力を選択した場合は、BCDコネクタ(カードエッジタイプ26P)が付属されます。

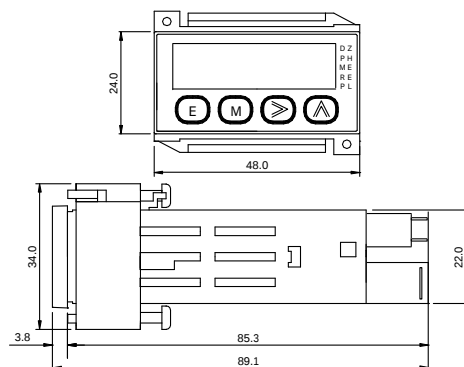
2. 取り付け方法

2.1. パネルカット寸法

A8000シリーズを取り付ける際のパネルカットは、下図のようになります。



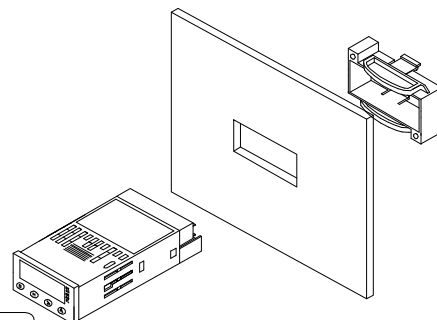
2.2. 外形寸法



表示のSWなしの場合はフロント面の印刷はありません。

2.3. パネル取り付け方法

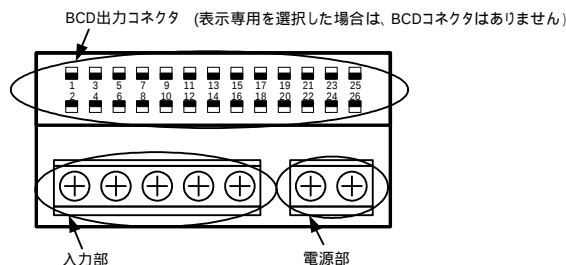
本体から取り付けバンドを外した状態でパネル前面より挿入し、パネル後方から取り付けバンドにより固定してください。



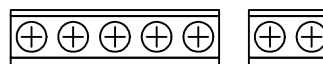
△ 注意

- (1) ちり、ゴミ、電気部品に有害な化学薬品、腐食性ガス等のない場所で使用して下さい。
- (2) 本器を装置内に設置する場合は、装置内の温度が50℃以上にならないよう放熱等にご注意下さい。
- (3) 振動、衝撃がかからないようにして下さい。

3. 端子の説明及び接続方法



下側端子



・入力端子 HI (1Vレンジの+入力端子)

・入力端子 HI (2Aレンジの+入力端子)

・入力端子 LO (-側入力端子)

・入力信号線は出来るだけ短くし、他の信号線から離して下さい。

・外部ノイズの多いところでは2芯シールド線を使用し外被は信号源でLO側と1点接続して下さい。

・入力信号に高周波ノイズが重畳している時は入力に低域通過フィルタを用いて下さい。ただし時定数で応答時間に遅れが出ますので使用条件によっては注意が必要です。

・NC端子

・NCには何も接続しないでください。

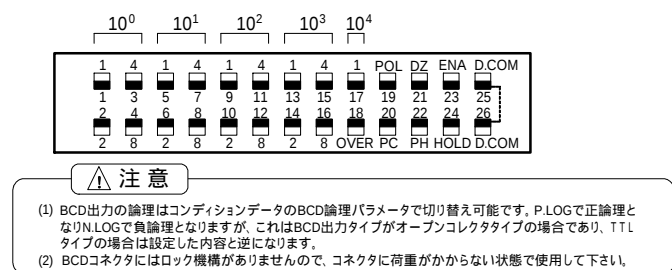
・電源端子(DC POWER 0V)

・電源端子(DC POWER +V)

・本器には電源スイッチが付いていませんので、電源を接続するとすぐに動作状態となります。

上側端子 (BCD出力付きのみ)

表示専用を選択した場合、BCD出力、外部制御なしとなります。



1~17: 各桁のビット1-2-4-8出力

18: BCDオーバー出力

19: BCD極性出力

20: BCD印字指令出力

21: デジタルゼロ

・D.COM端子と短絡または"0"レベルにすることにより、直前に表示された値を"ゼロ"として測定します。以後はそのポイントからの変動幅を表示する機能です。

22: ピークホールド

・D.COM端子と短絡または"0"レベルにすることにより、最大値(ピークホールド)、最小値(バレーホールド)、最大値と最小値との差(ピークバレーホールド)を表示保持する機能です。機能の切換は、コンディショニングデータで行います。

23: BCDイネーブル

・D.COM端子と短絡または"0"レベルにすることにより、BCD出力がハイインピーダンスまたはトランジスタOFFとなります。

24: ホールド

・D.COM端子と短絡または"0"レベルにすることにより、表示を保持します。

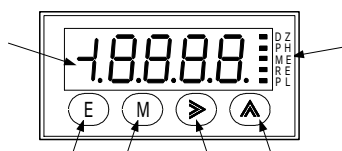
25,26: D.COM

・BCD及び制御端子の共通端子です。

"0"レベル: 0~1.5V, "1"レベル: 3.5~5V, 入力電流: -0.5mA

4. パラメータの設定について

4.1 各部の名称と機能



- | | |
|-------------|--|
| メイン表示部 | : 測定値及びパラメータ設定時のメニューや内容の表示。 |
| 機能モニタ表示部 | : 制御機能使用時に点灯。また各種設定時に点滅。 |
| エンタースイッチ | : 測定状態からパラメータ設定状態への移行(エンター + モード)。 |
| モードスイッチ | : パラメータ設定時の変更項目の移動。
シフトデータ設定状態への移行(モード + シフト)。
デジタルゼロの前面ON/OFF制御(モード + インクリメント)。 |
| シフトスイッチ | : パラメータ設定時の桁移動。
シフトデータ設定状態への移行(モード + シフト)。 |
| インクリメントスイッチ | : パラメータ設定時の数値選択(インクリメント)及び内容選択。
デジタルゼロの前面ON/OFF制御(モード + インクリメント)。 |
- コンディショニングデータのb, uPがOFFの時は、電源を切るとデジタルゼロ値は解除されます。
SWなしの場合は、フロントシートの印刷はありませんが、スイッチは実装されています。

4.2 表示と文字表記

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - /
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - /

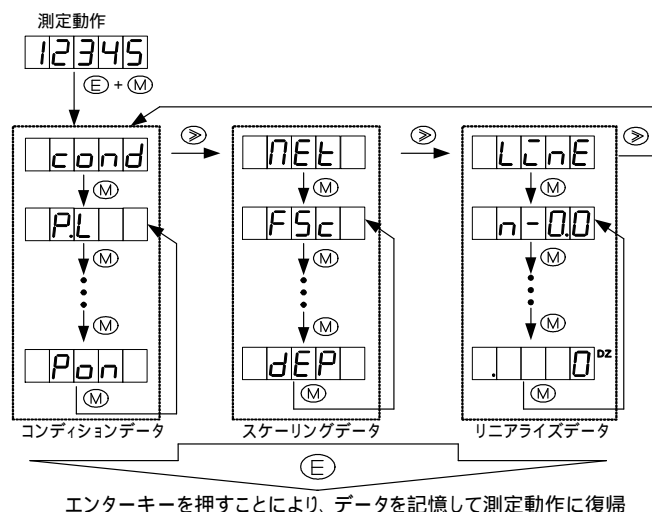
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
A b c d E f G h I j K l M n o P q r S t U v W x Y z

4.3 パラメータの種類とプロテクトレベル

パラメータは下記のように主な目的によりグループに分かれています。コンディショニングデータ内のプロテクト設定により、設定可能なパラメータに制限をかけることが出来ます。

- | | |
|--------------|---|
| コンディショニングデータ | … サンプルング速度や各制御の動作タイプなど基本的な動作を設定するパラメータのグループ |
| スケーリングデータ | … スケーリングなど計測に関するパラメータのグループ |
| リニアライズデータ | … 入力値と表示値の直線性を補正する機能に関するパラメータのグループ |

4.4 パラメータ設定モードへの移行



4.5 プロテクトレベル

プロテクトレベル0 (PL0) … 全てのパラメータの表示(設定)が可能です。

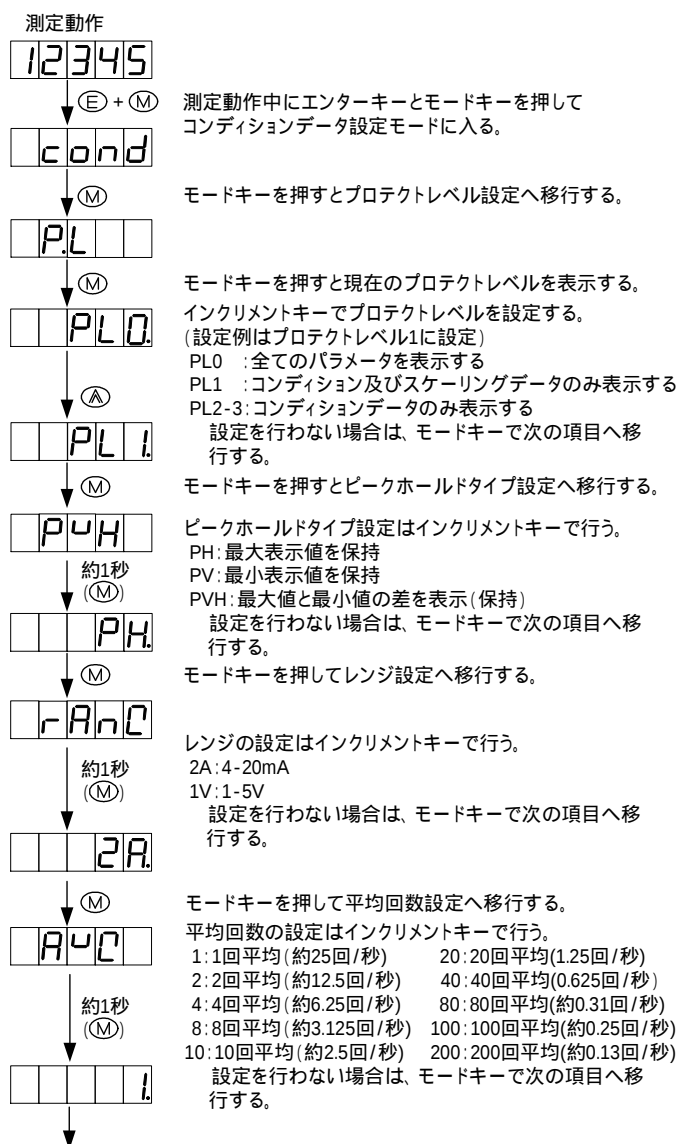
プロテクトレベル1 (PL1) … コンディショニング及びスケーリングデータの表示(設定)が可能です。
注意: コンディショニングデータの表示(設定)はプロテクト、レンジ及び平均回数(サンプリング)のみとなります。

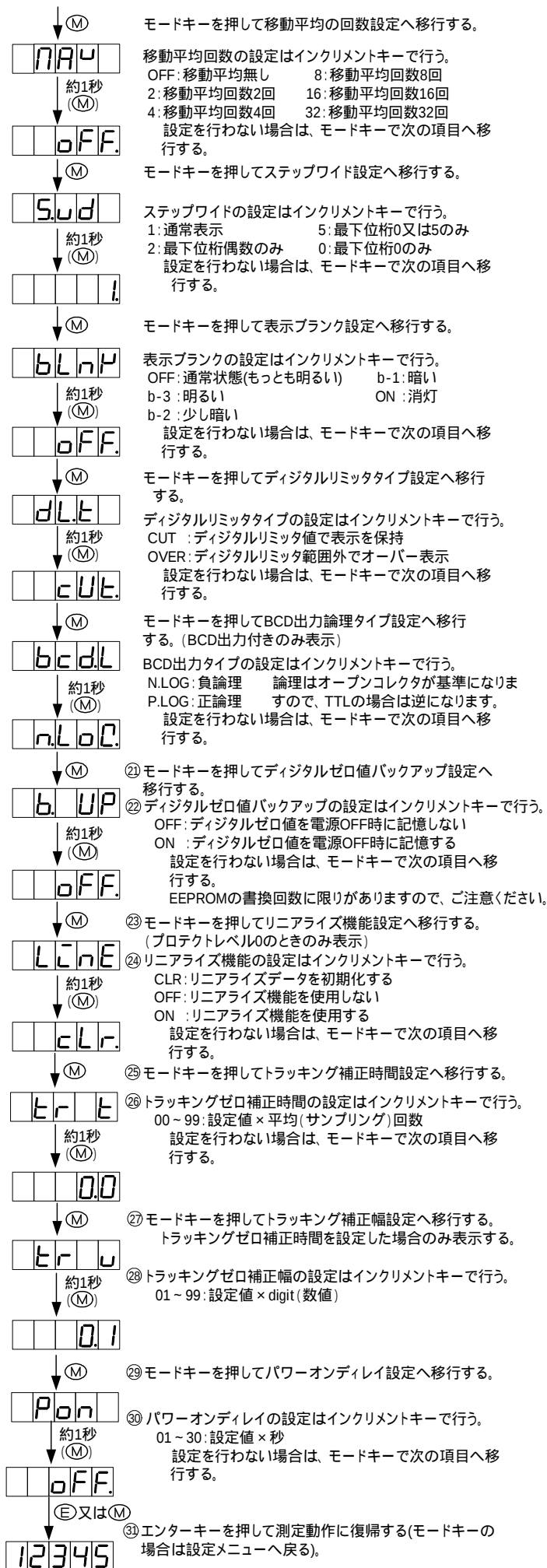
プロテクトレベル2,3(PL2,3) … コンディショニングデータのプロテクトレベルのみ表示(設定)可能です。

4.6 各パラメータの設定方法

4.6.1 コンディショニングデータの設定

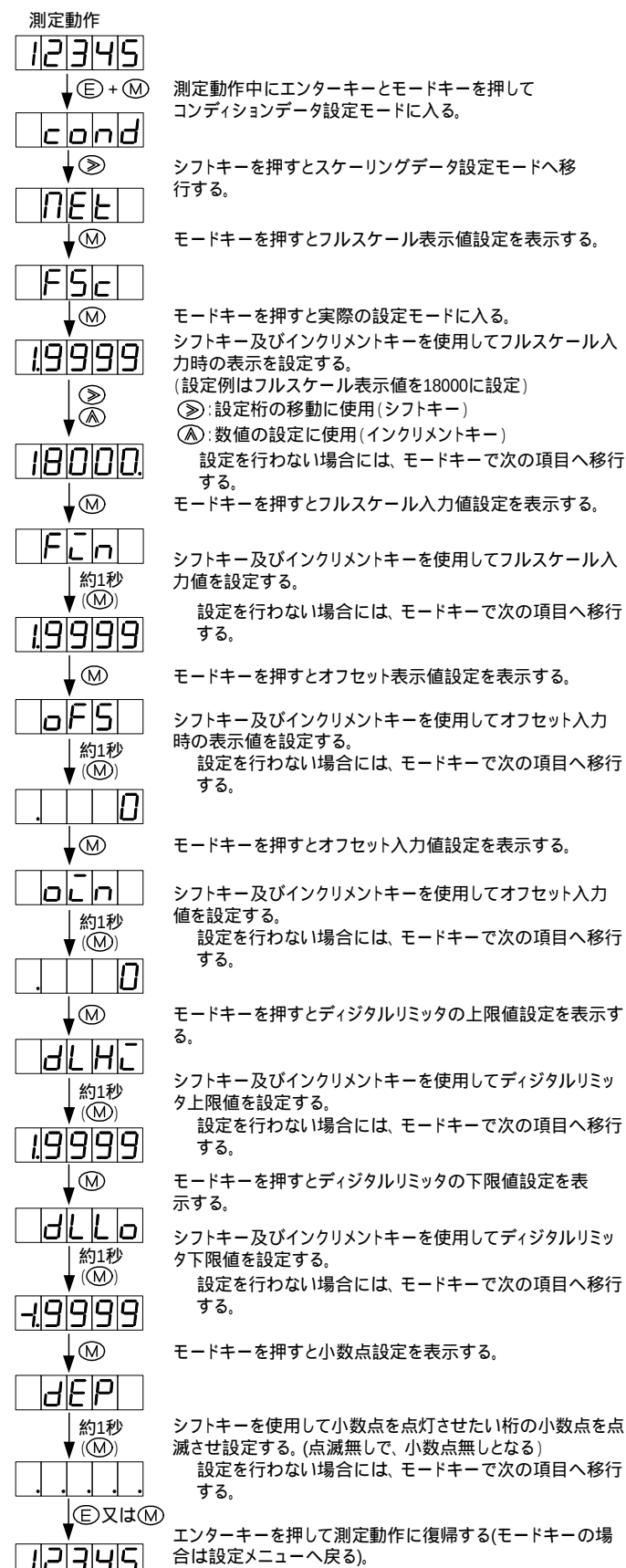
プロテクトレベルや測定レンジ、各制御の動作タイプなど基本的な動作を設定するパラメータグループです。





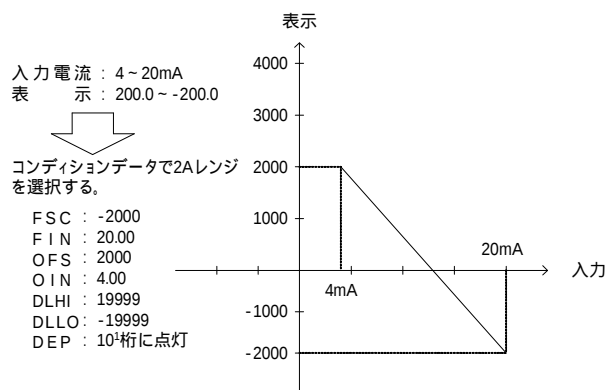
4.6.2 スケーリングデータの設定

スケーリングや小数点など計測に関するパラメータグループです。

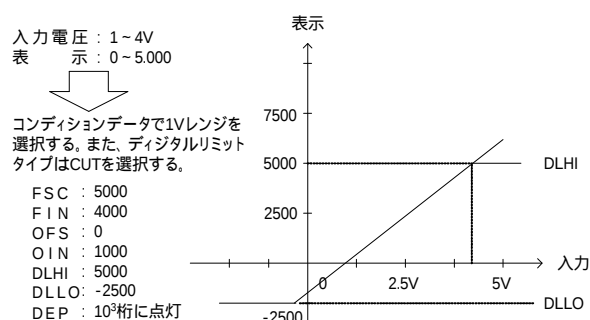


スケリングデータの設定例

設定例1



設定例2



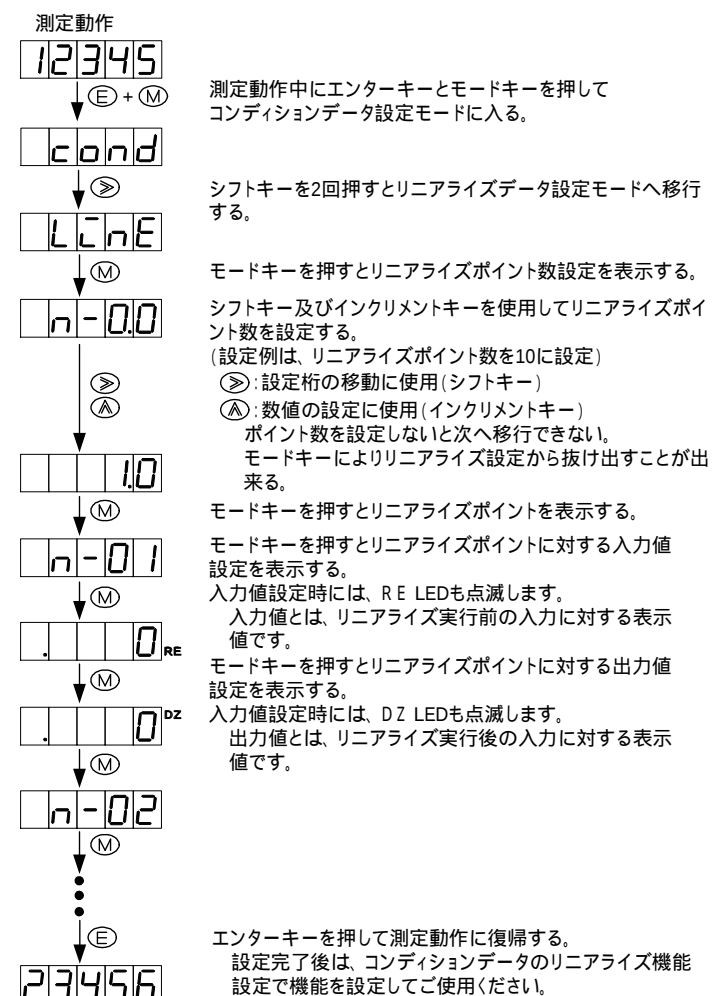
デジタルリミット機能

デジタルリミット機能は、コンディショナーデータ内のデジタルリミットタイプ設定とスケリングデータ内のデジタルリミット値設定値と併用して表示を制御する機能です。

コンディショナーデータ内のデジタルリミットタイプでカット(CUT)を選択すると、上記設定例2の様にスケリングデータ内で設定したリミット値で表示が維持されます。また、デジタルリミットタイプでオーバー(OVER)を選択するとスケリングデータ内で設定したリミット値以上の表示になる入力があった場合には、o.L.を表示します。

4.6.3 リニアライズデータの設定

入力値と表示値の直線性を補正する機能に関するパラメータグループです。リニアライズ機能とは入力と表示の直線関係を任意のポイントで補正して傾きを変える機能です。リニアライズデータは任意のポイントの入力値(補正前の表示値)と出力値(補正後の表示値)により設定します。リニアライズ機能をご使用される場合には、このリニアライズの設定を行った後、コンディショナーデータ内のリニアライズ機能設定をONにして初めてリニアライズが機能します。

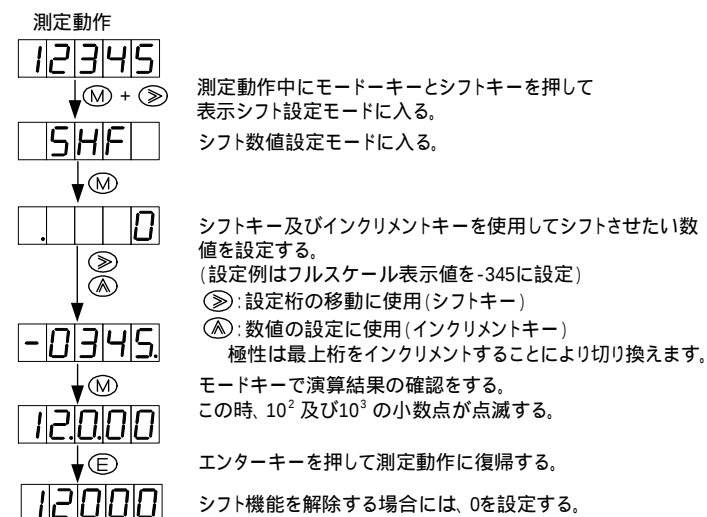


設定条件は、 $N-1 < N-2 \cdots N-15 < N-16$ となり、条件を満足しない場合Errを表示しますので、再設定してください。また、リニアライズポイントは16点までですが、設定時に17 ~ 19も表示されます。17 ~ 19を設定した場合には強制的に16と設定されます。

5. その他の機能について

5.1 表示シフト機能

表示シフト機能とは、入力信号の傾斜を変えずに表示のみを任意にシフトさせる機能です。



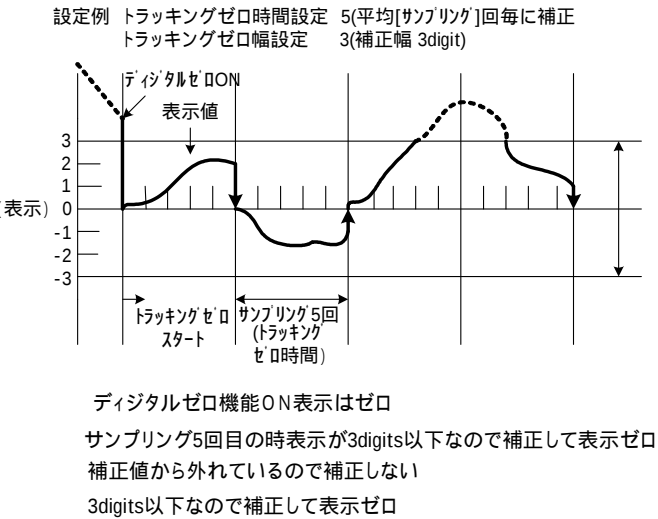
5.2モニターモード

A8000シリーズは、メイン表示部に最大値、最小値、(最大値 - 最小値)、入力値を表示することが出来ます。エンターキーを押しながらインクリメントキーを押すことにより各モードの表示状態となります。モードの切替は、シフトキーを約1秒間押し続けることで行います。最大値→最小値→(最大値 - 最小値)→入力値の順に切り替わります。また、インクリメントキーを約1秒押し続けることによって表示をクリアすることができます。エンターキーを押すことにより通常表示に戻ります。(次回モニターモードにはいる場合、前回抜け出たモードになります)

- 最大値: 10⁴桁の小数点が点滅して、最大値を表示します。
- 最小値: 10⁰桁の小数点が点滅して、最小値を表示します。
- 最大値 - 最小値: 10⁰桁と10⁴桁の小数点が点滅して、最小値と最小値との差を表示します。また表示可能範囲を超えた場合、10³桁の表示が□となり、小数点が点灯します。
- 入力値: 10⁰桁と10¹桁の小数点が点滅して、入力値を表示します。

5.3トラッキングゼロ

トラッキングゼロは、ゼロ点の移動を内部でデジタル的に自動補正する機能です。この機能はデジタルゼロ機能が有効になった時点から動作を開始します。補正は、コンディションデータ設定のトラッキングゼロ時間設定及びトラッキングゼロ幅設定で設定された値により行います。



6. 外部制御機能について

BCD出力付きの場合、外部制御としてホールド、デジタルゼロ(端子制御)、ピークホールド機能があります。

外部制御端子は、電源及び入力と直流的に絶縁されています。

6.1ホールド機能

ホールド機能とは任意のタイミングで表示を止める機能です。HOLD端子とD.COM端子を短絡、または"0"レベルにすることにより機能がONします。

6.2デジタルゼロ機能

デジタルゼロ機能とは任意のタイミングで表示をゼロとして、以後はそのポイントからの変動幅を表示する機能です。尚、デジタルゼロ機能のON/OFF制御は端子制御と前面キーによる操作とがあります。端子制御の場合にはDZ端子とD.COM端子を短絡、または"0"レベルにすることにより機能がONします。

前面キー制御の場合にはモードキーを押しながらインクリメントキーを押すと機能がONします。もう一度同じ操作をすると機能がOFFとなります。

制御端子と前面キーによる操作は端子制御が優先となります。

6.3ピークホールド機能

ピークホールド機能とは最大値(ピークホールド)/最小値(バレーホールド)/最大値 - 最小値(ピークバレーホールド)の何れかを保持する機能です。これらの保持機能の切換は、コンディションデータにより行います。P/H端子とD.COM端子を短絡、または"0"レベルにすることにより機能がONします。

6.4制御端子レベル

各制御端子のレベルは下記の通りです。

- "0"レベル: 0 ~ 1.5V
- "1"レベル: 3.5 ~ 5V
- 入力電流: -0.5mA

7.仕様

■入力仕様

●プロセス信号測定

レンジ	測定範囲	表示	確度	入力インピーダンス	最大許容入力
1V	1~5V	オフセット ±19999	±(0.1% of rdg + 3digit)	約1MΩ	±50V
2A	4~20mA	フルスケール ±19999	±(0.2% of rdg + 3digit)	約10Ω	±50mA

小数点 前面シートSWにより任意設定可能
(詳しくは、4.6.2 を参照のこと)

■共通仕様

- 入力回路: シングルエンド型
- 動作方式: ΔΣ変換方式
- 表示: 赤色7セグメントLED 文字高 約10mm
- サンプリング速度: 最高25回/秒
- 表示範囲: -19999 ~ 19999
- オーバーレンジ警告: 表示範囲以上の入力信号に対して0.L.又は-0.L.表示
- ゼロ表示: リーディングゼロサプレス
- 使用温湿度範囲: 0~50 35~85%RH(非結露)
- 保存温湿度範囲: -10~70 60%RH以下(非結露)
- 外形寸法: 48mm(W) × 24mm(H) × 89.1mm(D)
- 重量: 約70g
- 耐電圧: 電源-入力、BCD出力、外部制御端子間 DC500V 1分間
 入力-BCD出力、外部制御端子間 DC500V 1分間
 ケース-各端子間 AC1500V 1分間
- 絶縁抵抗: 上記端子間 DC500V 100MΩ以上

■電源仕様

- 電源電圧範囲: DC4.75 ~ 13.2V
- 電源電圧範囲: DC10.8 ~ 26.4V
- 消費電力: 約1.5W

■オプション仕様

●BCD出力

- TTL出力
- 測定データ: トライステートパルレルBCD
- 極性信号: マイナス表示の時 1レベル
- オーバー信号: オーバー表示の時 1レベル
- 印字指令信号: 測定完了後に正パルス出力
- 出力論理: 切換可能(PC論理の切換は不可)
- 出力信号: TTLレベル ファンアウト=2 CMOSコンパチブル

オープンコレクタ出力(NPN型)

- 測定データ: 負論理 論理1の時 トランジスタ ON
- 極性信号: マイナス表示の時 トランジスタ ON
- オーバー信号: オーバー表示の時 トランジスタ ON
- 印字指令信号: 測定完了後にトランジスタ ON
- 出力論理: 切換可能(PC論理の切換は不可)
- トランジスタ出力容量: 電圧 DC30V Max. 電流 10mA Max
出力飽和電圧 10mA時 1.2V以下

イネーブル

- ENABLE入力: ENA端子とD.COM端子を短絡または"0"レベルにすることによりBCD出力がハイインピーダンス(TTL)またはトランジスタOFFとなります。

制御信号"0"レベル: D.COMに対して、0 ~ 1.5V

制御信号"1"レベル: D.COMに対して、3.5 ~ 5V

●外部制御

- ホールド: HOLD端子とD.COM端子を短絡または"0"レベルによりホールドON
- デジタルゼロ: DZ端子とD.COM端子を短絡または"0"レベルによりデジタルゼロON
- ピークホールド: PH端子とD.COM端子を短絡または"0"レベルによりピークホールド機能ON
- 制御信号"0"レベル: D.COMに対して、0 ~ 1.5V
- 制御信号"1"レベル: D.COMに対して、3.5 ~ 5V

8. パラメーター一覧

8.1コンディションデータ

メニュー表示	パラメータ名称	初期値 (注)	PLレベル	設定可能範囲 又は選択肢	主な設定目的と注意事項
PL (P.L)	プロテクトレベル	PL0	PL2	PL0/PL1 PL2/PL3	誤操作防止のためのプロテクトレベルを選択します。レベルが上がる程、設定パラメータが制限されます。
PH (PVH)	PHセレクト	PH	PL0	PH/PH/PH	PH機能を有効にしたときに動作するタイプ(ピークホールド/バレーホールド/ピークバレーホールド)を選択します。
RANG (RANG)	入力レンジ	2R	PL1	2R/1V	入力レンジを選択します。
AVG (AVG)	平均回数	1	PL1	1/2/4/8/10/20 40/80/100/200	平均回数(サンプリング速度)を選択します。サンプリング速度は25回/秒(40ms)の平均回数として設定します。実際のサンプリング時間となります。
MAV (MAV)	移動平均回数	OFF	PL0	OFF/2/4 8/16/32	移動平均回数を選択します(フィルタ効果 小 OFF 2 4 8 16 32 フィルタ効果 大)。
SWD (S.WD)	ステップワイド	1	PL0	1/2/5/0	最小桁の分解能を設定します(5に設定した場合、最下桁は0又は5のみ表示します)。
BLNK (BLNK)	表示ブランク レベル	OFF	PL0	OFF/b-3/b-2 b-1/on	表示の輝度を選択します(明るい OFF b-3 b-2 b-1 ON 消灯)。
DLT (DLT)	デジタル リミッタタイプ	CUT	PL0	CUT/OL	表示可能範囲タイプの設定を行います。CUTで設定値、OVERでOLを表示します。
BCD.L (BCD.L)	BCD出力論理	NLO	PL0	NLO/PLO	BCD出力の論理(N:負論理、P:正論理)を選択します。 *BCD出力ありのみ
D.VP (D.VP)	DZバックアップ	OFF	PL0	OFF/on	電源OFF時にデジタルゼロ値をバックアップするかどうかを選択します。
LINE (LINE)	リニアライズ	CLR	PL0	CLR/OFF/on	リニアライズ機能の有効(ON)/無効(OFF)及びデータクリア(CLR)の選択をします。
TR.T (TR.T)	トラッキングゼロ 補正時間	00	PL0	00 - 99	トラッキングゼロ機能の有効/無効及び補正時間(設定値/変換速度)を設定します。
TR.W (TR.W)	トラッキングゼロ 補正幅	01	PL0	01 - 99	トラッキングゼロ機能の補正幅を設定します。 *TR.Tが00以外の時のみ
PON (PON)	パワーオンデ レイ時間	OFF	PL0	OFF - 30	電源投入時から実際に測定動作を開始するまでの時間(設定値×1秒)を設定します。

(注) 表示のSWなしの場合は、ご注文時に指定の設定値が設定され、プロテクトレベルはPL3となります。

8.2スケーリングデータ

メニュー表示	パラメータ名称	初期値 (注)	PLレベル	設定可能範囲 又は選択肢	主な設定目的と注意事項
FSC (FSC)	フルスケール 表示値	19999	PL1	+9999 - 19999	入力信号と表示値の関係を設定します。 ()内は1Vレンジの初期値
FIN (FIN)	フルスケール 入力値	2000 (5000)	PL1	-2000 - 2000 (-5000 - 5000)	
OFS (OFS)	オフセット 表示値	0	PL1	+9999 - 19999	
OIN (OIN)	オフセット 入力値	400 (1000)	PL1	-2000 - 2000 (-5000 - 5000)	
DLHI (DLHI)	デジタル リミットHI	19999	PL0	+9999 - 19999	表示可能範囲の上限値を設定します(デジタルリミットHI設定値以上は数値が更新されず設定した値で保持します)。
DLLO (DLLO)	デジタル リミットLO	+9999	PL0	+9999 - 19999	表示可能範囲の下限値を設定します(デジタルリミットLO設定値以下は数値が更新されず設定した値で保持します)。
DP (DP)	小数点	...	PL1	各桁任意設定	小数点表示位置を設定します。

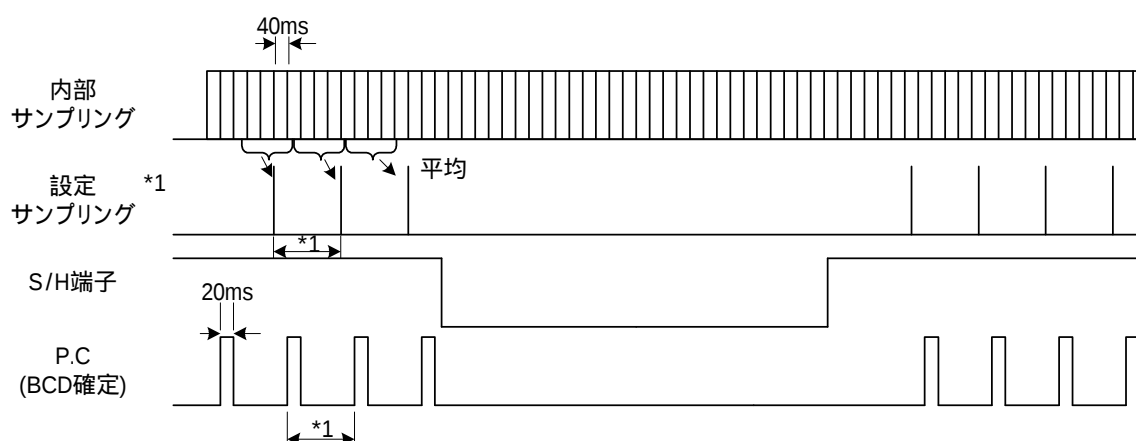
(注) 表示のSWなしの場合は、ご注文時に指定の設定値が設定され、プロテクトレベルはPL3となります。

9. エラーメッセージ

エラー表示	エラー内容	復旧及び対処方法
	入力値、表示値が測定範囲を越えた場合	指定されたレンジの測定範囲範囲及び表示範囲内でご使用ください。
	マイクロコンピュータがデータ入力待ちの状態	平均回数が必要以上に大きく設定されていないか確認してください。
	本体内部メモリーの異常	電源を再投入してください。それでも復旧しない場合には、取扱店または直接弊社までご連絡ください。
	コンディションデータ異常	コンディションデータを再設定してください。 1個以上のデータを変更し、さらにパラメータを1巡させる。
	スケーリングデータ異常	スケーリングデータを再設定してください。 1個以上のデータを変更し、さらにパラメータを1巡させる。
	リニアライズデータ異常	リニアライズデータを再設定してください。 1個以上のデータを変更し、さらにパラメータを1巡させる。
	シフトデータ異常	シフトデータを再設定してください。
	デジタルゼロ値 バックアップデータ異常	デジタルゼロ値の書き込み動作を行ってください。

全ての前面キー(エンター、モード、シフト、インクリメントキー)を押しながら電源を投入することにより、全てのパラメータを初期値とすることが出来ます。

10. タイミングチャート



*1 設定サンプリング

コンディションデータのAVGパラメータにより設定する値が実質的なサンプリング速度となります(下表参照)。

AVG 設定回数	設定 サンプリング速度	設定 サンプリング周期	AVG 設定回数	設定 サンプリング速度	設定 サンプリング周期
1	25回/秒	40ms	20	1.25回/秒	800ms
2	12.5回/秒	80ms	40	0.625回/秒	1.6s
4	6.25回/秒	160mS	80	0.3125回/秒	3.2s
8	3.125回/秒	320ms	100	0.25回/秒	4s
10	2.5回/秒	400ms	200	0.125回/秒	8s

11. 保証とアフターサービス

11.1 保証

保証期間は納入日より1ヶ年となっております。この間に発生した故障で明らかに弊社に原因があると判断される場合は、無償にて修理いたします。

11.2 アフターサービス

本製品は厳重な品質管理の元で製造、試験、検査をして出荷しておりますが、万一故障した場合、取扱店又は直接弊社までご連絡(送付)下さい(故障内容は出来るだけ詳しくメモされ、現品と同封していただけると幸いです)。

watanabe
渡辺電機工業株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-16-19
TEL 03-3400-6141
FAX 03-3409-3156

Homepage <http://www.watanabe-electric.co.jp/>